10.6.19

會社斷然跳付く

住友電線遂に休業

職工代表の總本店訪問

6.19

事件中の住友電線製造所職工は十八日午後二時半中政之助以下六名の委員を擧げ最後の手段として住友總本店に最高幹部を訪問し山下所長住友を代表して會見したが午後五時遂に要求は拒絶され同時に會社側は三日間の休業を宣し此旨各職工に通知した

反省する迄 休業する

會社態度不變 山下理事談

住友電線製造所は十八日も依然怠業狀態を繰返し居るに鑒み此際整理する爲め別項の如く第三日曜日（定休日）明けの二十日から向ふ三日間臨時

休業す ることになつた

右に就き山下理事は語る

新要求書の宛名は住友合資會社になつて居るが電線は株式會社の法人組織になつて個人經營の住友合資の受ける性質のものでないから跳ね付けた次第で昨今の同職工の態度は甚だ平穩を缺き第一要求條件中の要目となつた團體交渉でさへ何等意義がない左様な曖昧なものを受付けるさへ迷惑な話である勿論日給三十錢增解職手當等一切の問題は今後とて一切會社の態度は飽く迄不變で彼等が反省する迄或は休業を持續するかも知れない（大阪電話）

製鋼所の 回答

昨日職工へ

嘆願書の形式が問題となつて紛糾を重ねて居た住友製鋼所の職工は遂に解雇者山内委員の名を除き十七日嘆願書を提出したので本店で[illegible]

クからマルグリット・カレ。エド

職工警官隊と 橋上の大亂鬪

6.19

職工廿四名傷つき 警官十七名負傷す

藤永田造船所職工六十餘名は十八日午後六時頃尼ケ崎友愛会支部より贈られたる米廿俵を梅田駅に受取りに行き歸途豫て職工の怨みに思へる前野由藏方を襲撃せんとする際西区上島橋附近に警戒中の警官と大乱鬪を始め警官十七名職工廿四名の負傷者を出し廿名は檢束せられ橋上より墜落するものあり河中にて取組合ひをするもあり大隊狀を呈せり（大阪）

二千の勞働團體 警官隊と大衝突

投石亂鬪の揚句に 雙方四十餘名負傷し 職工數十名檢束さる

6.20

十八日午後七時頃藤永田造船所敷津分工場及び第三工場其他の職工が汽車會社の同情寄贈米を舟津橋に受取に赴いた處他の勞働團體の連中を始め多數の野次が集まり來りその數二千を算し米を受取りもせぬ間に是等の大集團は勞働歌や革命歌を高唱し氣勢を昂め遂に形勢惡化して示威行列を爲し堂々横隊を組で西長堀北通二丁目同造船所顧問前野芳造氏宅を襲ふたが豫て警戒中であつた新町署の警官隊約六十名と同處の電車線路を挾んで相對峙し警官の叱咤も解散命令も聽ず此時職工が懷中に隱してゐた多數の石を警官隊に向つて投げ始めたので茲に双方大亂鬪となり爲めに警官職工側を合して四十數名の負傷者を出した此の騷ぎに友愛會々員で藤永田の職工である黑木百次等二十一名は新町署に檢束された尚ほ大木監察官の乘つて來た自動車七百號の運轉手市原和三郎は[illegible]

檢束者 三十三名 泉尾署へ

午後十一時十分に至り前記の騷いた早くも斯くと知つた職工連中はいち早くも同所を出でゝ大正橋方面に集合したので直ちに之を追跡し十二時迄に卅三名を泉尾署に引致した

前野回漕店を警戒する警官隊

尚右のドサクサ紛れに警官隊で押收した物件は左の通りである

押收品機械勞働組合西第二支部

造船勞働組合第九第四部の支部旗各一流宛棍棒、仕込枝、鐵棒、竹刀、木刀、青竹約三十本

尚當夜は府衛生課より救護班を編成し新町署に出張負傷者の手當をした

職工六百名 鈴木課長宅を襲ふ

之より先朝日倶樂部に集合した藤永田の職工二百名、友愛會尼崎支部より應援の二百名及他の職工百五十名は午後四時頃各自手に〳〵棍棒を持ち天下茶屋の藤永田造船課長鈴木氏の宅を襲撃し警戒中の警官と衝突を生じた職工等は瓦礫を投じて表板圍他數ヶ所の硝斯戸戸障子等を破壞したので遂に陰忍した警官も暴行者の檢擧につとめ遂に主謀者峰虎吉、黑木桃吉、吉松林久野の三名を住吉本署に拉致したが之れに猛り狂ふた職工

藤永田爭議の 後援勞働大會

復も神戸で開催

神戸各勞働組合聯合藤永田造船所罷工職工應援第三回大會は十八日午後七時から神戸湊川遊園地勸業館に開催宣言及左の決議をした

決議

一吾等は横斷組合を背景とせる團體交渉權獲得を期す

一我等は民衆産業の精神に依つて勞働組合を基調とする工場委員制度の確立を主張す

斯くて演說會に移り各自熱辯を振ひ午後十時半散會した（十九日、神戸發）